佐瀬一男教授 略歴・著作目録

略歴

1943年2月 東京都に生まれる

1969年3月 中央大学法学部政治学科卒業

1972年3月 駒澤大学大学院法学研究科公法学専攻修士課程修了

1972年3月 修士(法学)の学位授与(駒澤大学)

1975年3月 駒澤大学大学院法学研究科公法学専攻博士課程単位取得満期退学

1976年4月~1981年6月 創価大学通信教育部専任インストラクター(法学担当)

1981年1月 教員組織審査判定 創価大学·専任講師 通信教育部担当科目:法 学、判定:可

1981年7月 創価大学通信教育部専任講師(法学担当)

1987年9月 創価大学通信教育部助教授(法学、刑法担当)

1989年4月~2010年3月 創価大学通信教育部資格試験指導室長

1992年4月 創価大学教育学部兼担助教授(少年非行論担当)

1993年4月 目白学園女子短期大学兼任講師(暮らしの中の法律担当)

1994年4月 創価大学通信教育部教授(法学、刑法、人権 I 担当)

1998年4月 創価大学教育学部兼担教授(少年非行論担当)

1998年4月 創価大学法学部兼担教授(法学概説、少年法担当)

1998年4月~2010年3月 創価大学行政教育センター長

2001年4月 目白大学人間社会学部兼任講師(日本国憲法担当)

2001年4月~2001年6月 アリゾナ大学客員研究員

2001年7月~2001年9月 テンプル大学客員研究員

2007年4月~2013年3月 創価大学法務研究科兼担教授(少年法担当)

2013年3月21日 創価大学名誉教授

1976年~現在 日本刑法学会員

1981年~1988年3月 日本犯罪社会学会会員

1998年~現在 法務省人権擁護委員

1999年~現在 調布市個人情報保護審査会会長

2003年~現在 多摩東人権擁護委員協議会常務委員

2004年~現在 人権調整専門委員

2010年~現在 多摩東人権擁護委員会第2部副部会長

著作目録

著 書

「演習ノート刑法総論」 共著 法学書院 1982年10月 『刑法総論』 共著 八千代出版(全282頁) 1985年11月 『図解による法律用語辞典』 共著 自由国民社(全1272頁) 1986年11月 『非行少年はこう扱われる』 共著 有信堂・高文社(全284頁) 1987年9月 『刑法総論(全訂版)』 共著 法学書院(全225頁) 1993年10月 『アメリカ最高裁判所200年の軌跡』 共訳書 八千代出版(全231頁) 1994年1月 『法学へのプレリュード』 共著 八千代出版(全288頁) 1994年2月 『人権はだれのものか』 共編著 有信堂・高文社(全258頁) 1994年2月 『女性学へのプレリュード』 共著 北樹出版(全292頁) 1995年7月 『非行少年はこう扱われる(改訂版)』 共著 有信堂・高文社(全294頁) 1996年5月

『法学へのプレリュード(改訂第3版)』 共著 八千代出版(全322頁) 1996年9月 『行政書士へのプレリュード』 共著 創価大学出版会(全173頁) 1996年9月 『行政書士過去問題と解説』 共著 創価大学出版会(全165頁) 1996年9月 『誰もがたどった道そして誰もが忘れてしまった道』 共編著 北樹出版(全250頁) 1998年8月

『導入対話による医事法講義』 共著 不磨書房 1986年4月 『神戸事件でわかった日本』 共著 双葉社 1997年10月 『演習ノート刑法総論』全訂3版 共著 法学書院(全230頁) 2003年3月 『図解による法律用語辞典』全訂版 共著 自由国民社(全1,280頁) 2003年5月 『高齢学へのプレリュード』 共編著 北樹出版(全269頁) 2006年3月 『子ども学へのプレリュード』 共著 北樹出版(全282頁) 2006年3月 『刑法各論』 創価大学通信教育部 2009年4月 『新・人権はだれのものか』 共著 有信堂・高文社 2010年4月

学術論文

『不純性不作為犯総則規定の不当性』「公法学研究」(21~32頁) 1975年 3 月 『安楽死と刑法202条』「創価大学創立10周年記念論文集」(422~431頁) 1980年11月 『刑罰の本質』「創価大学創立15周年記念論文集」(309~320頁) 1985年11月 『少年院における矯正教育』「教育学部論集」20号 (93~115頁) 1986年 3 月 『少年院における独自性ある矯正教育』「教育学部論集」21号 (123~157頁) 1987 年10月

『人の始期と終期』「山岡通璋先生ご退職記念論集」(322~335頁) 1989年8月 『名誉毀損罪と表現の自由』「比較公法学の諸問題―伊藤満先生喜寿記念論集―」 (143~159頁) 1990年10月

『氷山則夫死刑囚と死刑存廃論』「創価大学創立20周年記念論文集」(401~412頁)

1990年11月

『脳死と臓器移植』「八木国之先生古稀記念論集」(307~332頁) 1992年3月 『刑罰の教育的効果』「創価大学創立25周年記念論文集(1,069~1,076頁) 1995年 2月

アリゾナの少年院カタリーナ・マウンティン・スクールの矯正教育』「創価大学通信教育部論集」第5号(75~90頁) 2002年8月

『アメリカにおける死刑の動向』「創価大学通信教育部論集」第6号(47~61頁) 2003年8月

その他

「講 演]

『個人情報保護法』について 調布市介護保険友の会 2005年9月 『家庭教育と子どもの人権』 狛江市民大学講座 2005年10月 『子どもの心見えていますか』 仙台市女性問題協議会 2005年11月 『こういう家庭は、非行を生む』 仙台市泉区、中学・高校連絡協議会 2008年2月

[夏季大学講座]

2010年「犯罪と女性」 2012年「少年法改正」

創価大学夏季大学講座を種々の演題で1980年から25年間行う

法の特質 『学光』(創価大学通信教育部) 1985年5月 人の始期と終期 『学光』(創価大学通信教育部) 1988年5月 名誉毀損罪における事実の証明 『学光』(創価大学通信教育部) 1989年8月 尊属殺人罪 『学光』(創価大学通信教育部) 1990年7月 判例の法源性 『学光』(創価大学通信教育部) 1990年11月 事実たる慣習と慣習法 『学光』(創価大学通信教育部) 1991年11月 賄賂の目的物 『学光』(創価大学通信教育部) 1994年6月 婚姻について 『学光』(創価大学通信教育部) 1995年4月 法学 誌上ゼミナール 『学光』(創価大学通信教育部) 1984年4月 「刑法と少年法」『学光』(創価大学通信教育部) 2012年11月 書評 川崎一夫「体系的量刑論」『学光』(創価大学通信教育部) 1991年12月 紀行文「アメリカの少年犯罪」『学光』(創価大学通信教育部) 2001年12月 随想 ある少年の物語 『学光』(創価大学通信教育部) 1976年9月号 随想 偉大な教訓 『学光』(創価大学通信教育部) 1980年9月号 座談会 通教生の労苦と使命を語る 『学光』(創価大学通信教育部) 1977年1月号 座談会 共に栄光の道を歩むために 『学光』(創価大学通信教育部) 1977年7月号 座談会 人間法学の確立を目指して 『学光』(創価大学通信教育部) 1979年5月号 座談会 学光道を完走して 『学光』(創価大学通信教育部) 1980年5月号

座談会 建学の理念のもとに 『学光』(創価大学通信教育部) 1982年10月号 座談会 通教開学10周年を迎えて 『学光』(創価大学通信教育部) 1985年7月号 ブック・スクエア

「半落ち」横山秀夫 講談社文庫 『学光』(創価大学通信教育部) 2007年5月 「命の初夜」北条民雄 『学光』(創価大学通信教育部) 2002年9月 「ロシアについて―北方の原形」司馬遼太郎 『学光』(創価大学通信教育部) 2008年6月

「死刑執行人サムソン」足立正勝 『学光』(創価大学通信教育部) 2004年6月 「恐るべき昭和天皇」松本健一 『学光』(創価大学通信教育部) 2011年12月 「回復力」 畑中陽太郎 『学光』(創価大学通信教育部) 2010年8月 「少年犯罪の深層」―家裁調査官の立場から 藤川洋子 『学光』(創価大学通信教育部) 2009年11月

「源氏物語」 瀬戸内寂聴訳 『学光』(創価大学通信教育部) 2012年5月 キャンパス21st

「執念をもって喜びの実現を」『学光』(創価大学通信教育部) 2006年10月 「現役合格者の増加」『学光』(創価大学通信教育部) 2007年7月 「今度だめだったらその次、その次だめだったらまた、その次頑張ればよい」 『学光』(創価大学通信教育部) 2002年12月

「情報を集め面接対策を」『学光』(創価大学通信教育部) 2004年12月 「複数合格者の増加」『学光』(創価大学通信教育部) 2008年4月 「さあ、スタートしよう合格目指して」『学光』(創価大学通信教育部) 2009年12月 レポート添削だより

「科目試験に対する心構え」『学光』(創価大学通信教育部) 1976年9月 「レポートは自らの学習報告」『学光』(創価大学通信教育部) 2010年6月 自立学習入門講座

「時間を見つけて少しずつ地道な学習を」『学光』(創価大学通信教育部) 2010年 8月

「テキストを読んでレポートを書こう」『学光』(創価大学通信教育部) 2011年12月 e スクーリングだより

「自宅にいながら教室の臨場感を」『学光』(創価大学通信教育部) 2010年4月 「自由な時間に自宅で学習を」『学光』(創価大学通信教育部) 2012年2月 ことばの散歩道

「聴けども聞こえず」『学光』(創価大学通信教育部) 2012年10月 「先んずれば人を制す」『学光』(創価大学通信教育部) 2012年11月 「あやかる」『学光』(創価大学通信教育部) 2012年12月 「人皆人に忍びざるの心あり」『学光』(創価大学通信教育部) 2013年1月 「踏んだり蹴ったり」『学光』(創価大学通信教育部) 2013年2月 「賞味期限と消費期限」『学光』(創価大学通信教育部) 2013年3月